

概要版

# 篠岡地区学校再編計画

～しのおか学園構想～

令和●年●月  
小牧市教育委員会

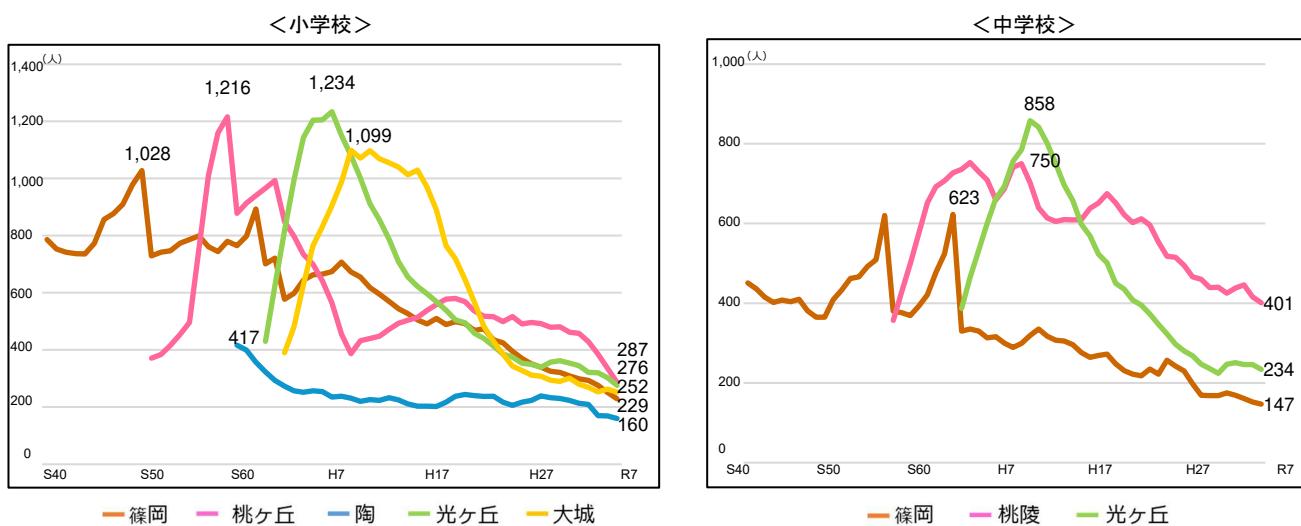
## 児童生徒数の減少

篠岡地区の児童生徒数は年々減少しています。

令和9年度には、全ての小学校において本市の適正規模を下回り、令和15年度には、全ての小学校と篠岡中学校において全学年が1学級になる見込みです。

現状においても1学年1学級の学校があり、さらに増えていくことに加え、今後は1学級あたりの人数が20人を切る学級が出てくる見込みをしています。

### ● 児童生徒数の推移



### ● 学級数の推計（令和9・15年度）

学校名	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	1	1	1	2	2	2	9
桃ヶ丘小	1	1	2	2	2	2	10
陶小	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	2	2	2	2	2	2	12
大城小	1	2	1	2	1	2	9

学校名	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	1	1	1	1	1	2	7
桃ヶ丘小	1	1	1	1	2	2	8
陶小	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	1	2	2	2	2	2	11
大城小	1	1	1	2	1	2	8

学校名	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
篠岡小	1	1	1	1	1	1	6
桃ヶ丘小	1	1	1	1	1	1	6
陶小	1	1	1	1	1	1	6
光ヶ丘小	1	1	1	1	1	1	6
大城小	1	1	1	1	1	1	6

学校名	中1	中2	中3	計
篠岡中	2	2	2	6
桃陵中	4	3	4	11
光ヶ丘中	3	3	2	8

学校名	中1	中2	中3	計
篠岡中	2	2	2	6
桃陵中	4	4	4	12
光ヶ丘中	3	3	3	9

学校名	中1	中2	中3	計
篠岡中	1	1	1	3
桃陵中	2	2	2	6
光ヶ丘中	2	2	2	6

### ● 未就学児の人数（令和7年度）

学校区	R1度生まれ (R8入学予定)	R2度生まれ (R9入学予定)	R3度生まれ (R10入学予定)	R4度生まれ (R11入学予定)	R5度生まれ (R12入学予定)	R6度生まれ (R13入学予定)
篠岡小	34	21	34	17	24	22
桃ヶ丘小	23	31	30	28	14	16
陶小	25	28	18	17	21	13
光ヶ丘小	40	29	33	29	20	11
大城小	26	35	26	22	30	15
合計	148	144	141	113	109	77

## 篠岡地区学校再編計画

### 『しのおか学園』構想

篠岡地区は歴史と伝統のある旧篠岡村の地域と、丘陵地を切り開き桃花台ニュータウンとして造成され発展してきた地域を併せ持つ特色のある地域であり、古き良き田園風景や里山などの豊かな自然環境に加え、農業・工業・商業など多様な産業と充実した都市インフラがバランスよく存在しています。

こうした多様性に富んだ地域性と郷土の資源を効果的に活用するため、「しのおか」という一つの学び舎の中、一貫したカリキュラム・マネジメントのもと、義務教育9年間の連続した学びの充実を図ることで、子どもたちが多くの仲間との交流の中で豊かな情操と人間関係を醸成し、広い視野と課題に向き合う力を相互に育むことができる教育を目指します。

また、子どもたちが変化の激しい社会をたくましく生きられるよう、より一層、地域に根差し、地域に支えられながら、探究的、創造的な教育を実施することで、子どもたちの郷土愛や誇りを醸成するとともに、変化を恐れず進んで新しい物事に取り組むことができるチャレンジ精神を育みます。

その上で、篠岡地区は児童生徒数の減少が顕著であり、子どもたちが多様性に触れる機会が損なわれかねない状況にあることから、子どもたちの将来を見据え、よりよい教育環境を整備し、一層の教育の充実を図るために、学校の再編により篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけることとします。



多様性・協働性

進取創造・探究

篠岡 (郷土愛)



### 目指す児童生徒像

#### 《学びえる子》

自ら課題をもち、仲間と協働しながら探求的に学ぶとともに、子どもたちが進んで新しい物事に取り組むことを通して、まだ見ぬ自分に出会う喜びを感じ、未来を生き抜く力を身に付けることができる。



#### 《認めえる子》

良好な人間関係を築き、多様性を認め、自他を大切にすることができる。また、多様な考えに触れる経験を通して自らの考えを見つめ直し、深めることができる。

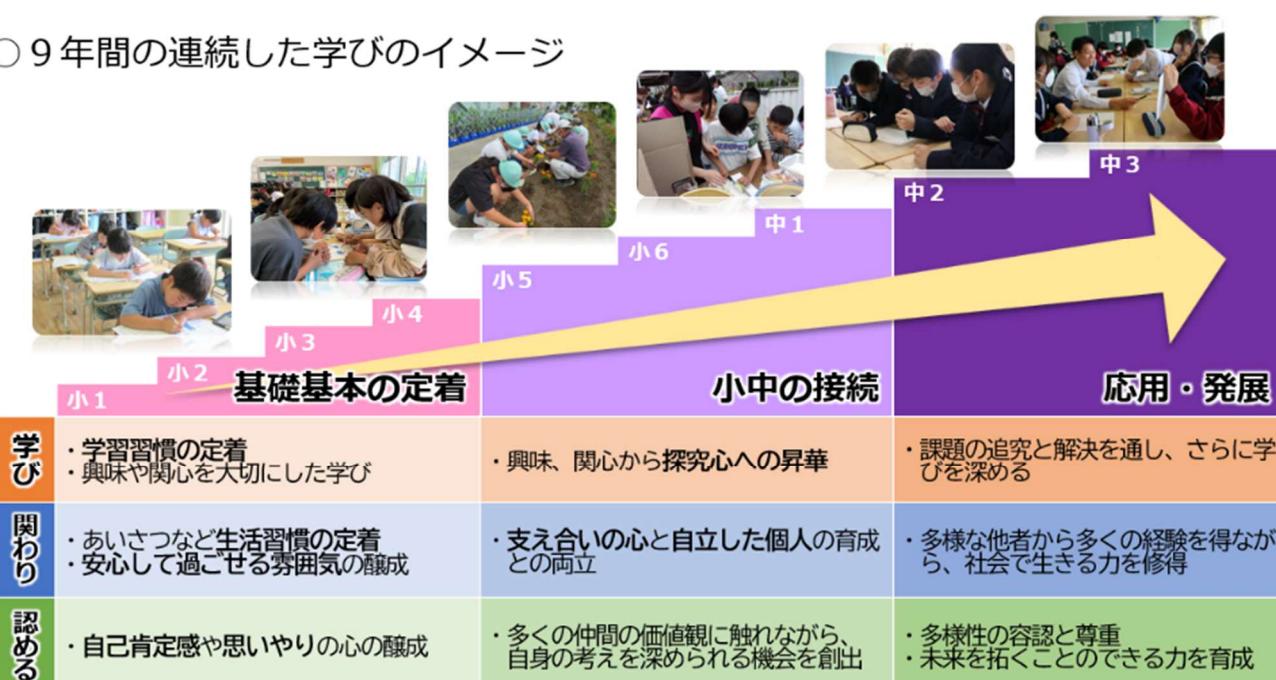


しのおか学園

#### 《関わり合える子》

児童生徒同士の関わりだけでなく、教職員や家庭、地域とも関わり合うことで、夢や目標の実現に向けて支え合い、励まし合いながら努力することができる。

#### ○9年間の連続した学びのイメージ



## 篠岡地区学校再編計画

### 学校規模適正化の具体的な方策

篠岡地区の小中学校を適正規模に近づけるため、児童生徒数と学校施設の老朽化の状況、通学距離を考慮した上で、子どもたちへの影響を最小化するため、既存の通学区域の編成を極力生かした学校再編を実施します。

また、篠岡地区については、児童生徒数の減少が顕著であり、目の前の子どもたちの教育環境を早急に改善するため、段階的な再編として、再編を2期に分け、まずは第1期の再編として、既存の校舎を利用した再編を早期に実施します。

#### 第1期 小学校2校、中学校2校に再編

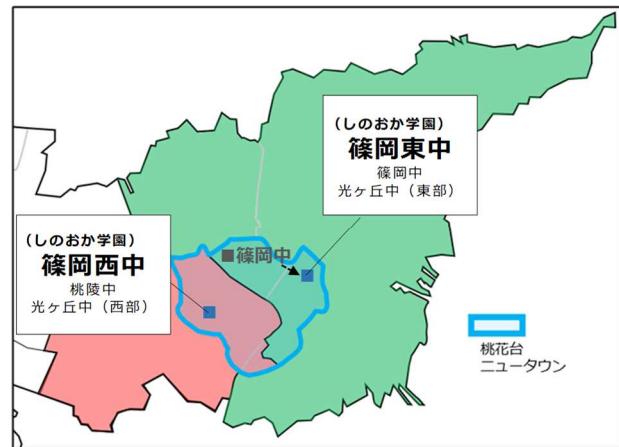
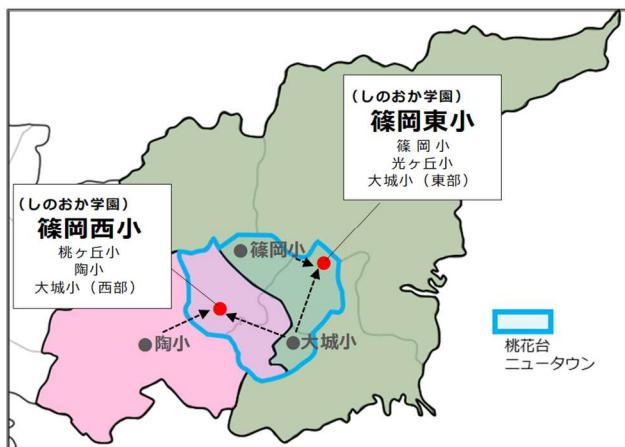
R9年度実施

<小学校>

- (仮称) 篠岡西小学校 (桃ヶ丘小、陶小、大城小(城山二、四、五丁目)) ⇒ 桃ヶ丘小の校舎を利用  
(仮称) 篠岡東小学校 (篠岡小、光ヶ丘小、大城小(大草、城山三丁目)) ⇒ 光ヶ丘小の校舎を利用

<中学校>

- (仮称) 篠岡西中学校 (桃陵中、光ヶ丘中(城山四丁目)) ⇒ 桃陵中の校舎を利用  
(仮称) 篠岡東中学校 (篠岡中、光ヶ丘中(城山四丁目除く)) ⇒ 光ヶ丘中の校舎を利用



#### 遠距離通学の対応

通学距離が遠距離になる児童生徒については、**中学生は自転車による通学を、小学生はスクールバスを導入します。**

スクールバスの運行対象エリアは、**通学距離が2km以上となる児童に加え、篠岡地区の地域の特性（学校までの高低差等）に配慮したエリア**を設定します。



#### 第2期 小学校1校、中学校1校に再編

時期は第1期後の児童生徒数と学校施設の老朽化の状況等により判断

篠岡小学校と篠岡中学校の敷地に新たな学校を設立（小学校1校、中学校1校に再編）し、**小中一貫教育**の導入に向けて検討を進めます。